

訪問型の地域医療・地域生活支援 画期的な精神保健医療改革を提言！

「こころの健康政策構想会議」は 28 日、長妻厚生労働相に「こころの健康推進を日本の基本政策に！」と題する「提言書」と 2 万 4 千を超える賛同署名を提出しました。同省はこれを受け、31 日に「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」を立ち上げ、政策の実現や法案の早期成立を目指すとしています。

この提言書は、A4 判で中村ユキさんの漫画解説付きとなっています。

提言書は、こころの健康の回復を国家的戦略課題と位置付け、包括的な政策確立の緊急性、具体的には「精神保健医療改革」として、市区町村が主体となる「地域こころの健康推進チーム」の創設、「精神医療改革」として「多職種チームによるアウトリーチ（届くサービス）の実現」「緊急医療の充実」「専門医療の充実」を提起、改革を進めるために「精神医療の人的配置と診療報酬を一般医療と同等にする」こと、また、家族支援として「家族支援専門員制度」「家族も相談できる医療体制」「保護者制度の廃止」など、改革案（精神疾患対策基本法案）の方向性を具体的にまとめ上げています。

29 日の記者会見では、提言を実現していくために、秋までに 100 万人の署名運動を進めていこうと、全国の家族・当事者、関係者に呼びかけました。



第3回総合福祉部会 各委員が怒りの声



6 月 1 日、「総合福祉部会」の第 3 回会合が開催された。会合では、衆院厚生労働委員会で「制度改革推進会議」「部会」の現行議論を無視して障害者自立支援法改正案を可決したことに出席した委員から怒りが爆発した。委員多数の要望で、同部会は 1 日付で推進会議あてに、「強い遺憾の意を表す要望書を提出」することを決めた。次回会合は 22 日で、新法制定に向けた本格的な議論に入る方針です。

－ 愛知県の障害者医療費助成 －

全科無料化に向け、「県」へ、「県議会」へ、要求行動開始！

6 月 11 日 (金) 午前 10 時 30 分～12 時
ウィルあいち (地下鉄「市役所」2 番出口)

愛家連大会を成功させましょう